

まえがき

「実績は時の運。でも運は努力しなければ得られない」これは私が銀行員時代に部下たちに言い続けてきたことです。

サラリーマンにはノルマがありますが、これが達成できるかどうかは、やはり運に恵まれないと難しい面があります。たとえば、もう手に届きそうな案件があっても、最後実現するかどうかは絶対はありません。でも、なにも努力しなくて案件が実現し、ノルマが達成することもありません。

私自身、銀行を退職し、その後独立して10年になります。よく、「なぜ10年も継続できたのですか？」と聞かれますが、私はいつも「運が良かったから」と回答します。

起業した方々は、皆さん事業がうまくいくように努力します。でも、その努力が実るかど

うかは運に左右されます。

そのような運の要素の大きなものとして、環境の変化が挙げられます。

経営は常に環境の変化にさらされます。それは大企業であっても同じです。ましてや、中小企業や個人事業主であれば、大企業以上に環境変化の影響を受けます。マーケット環境の変化、技術革新による変化、そして景気変動による変化。

大きなところではバブル経済の崩壊やリーマンショック。そこまでいなくても、かつて消費者金融やパチンコメーカーが競ってテレビCMを流していたのに、最近は全く影を潜めているようなことから、これらの業界の環境が大きく変化したことが見て取れます。

また、近年「働き方改革」が叫ばれ、人手不足も深刻になり、従業員に対する処遇についても従来のやり方では通用しなくなっています。これも時代の流れから出てきた環境の変化の1つでしょう。

そのような環境の変化が起きる時、事業は、大きな変革を求められることになるかもしれませんが。そして、タイミング良く、適正な変革をしないと、事業は厳しい状況に追い込まれることもあるでしょう。

そういう意味では、経営とは環境の変化に対応していくことも言えます。

でも、環境の変化に対して対応していこうとすると、どうしても資金が必要になってきます。設備投資や新しい商品開発。人材育成に新しい販売先や仕入れ先の開拓……。お金を全くかけずにできるものではありません。

お金が足りない時にどうするか。やはり資金調達が必要ですよ。でも調達できなかつたら……。環境の変化に対応できず、事業は厳しい状況に追い込まれてしまいます。厳しい状況とは、売上や利益が落ち、資金繰りが悪化していくことです。

私がコンサルティングを行う際に、「資金繰りが悪化すると経営者の経営能力は30パーセントに低下する」とお話しします。3割減ではなく、7割減です。

実際、経営者の方で資金繰り悪化の経験がある方は、このお話についてよくおわかりになるかと思います。明日の支払いに困れば、頭の中は資金繰りのことであらばいいになり、経営をすることでなくなくなります。

また、支払いのために奔走するので、実際に営業することも、事業を推進していくこともできません。経営者がこのような問題で経営能力を発揮できないことは、企業にとつても多大な損失となります。

環境が変化して、資金繰りが厳しくなり、更に経営能力も低下し、倒産に至る例は、数え切れないほどあります。そうならないためにどうするか……。事業が順調な時から、環境の変化に備える必要があります。

それこそが、この本でお話ししたい、「財務体制を強化する」ということなのです。

よく、営業と管理は車の両輪と言われますが、私に言わせれば、財務と経営との関係は電車を走らせるレールのようなもので、レールがガタガタすれば、電車は走れないのと同様、財務がしっかりしていないと、経営はできないし、結果、環境の変化に耐えられないということになります。

そのような環境の変化に対する備えをしていなければ、いくら「実績は時の運」と言っても、そこに対する努力がなされていないことになります。

この本をお読みいただき、環境の変化に対応できるように、財務体制の強化を行い、運を取り込める、しっかりした経営を行っていただく、そんな一助にいただければ幸いです。

株式会社ファイブ・トラスト

五島 信也